

[うえる]

Vol.1

2020
Summer

Take Free

特集

地域×益城病院



社会医療法人ましき会

益城病院
MASHIKI HOSPITAL

Contents

巻頭言 新院長就任挨拶「益城病院、70年目の挑戦」	1
【特集】 地域×益城病院 ■益城町役場	2
【特集】 地域×益城病院 ■天草市立御所浦診療所	3
【特集】 地域×益城病院 ■いきいきカフェ民生委員	4
【特集】 地域×益城病院 ■聖母幼稚園	5
こころ相談室	6
けんこうupレシピ	7
メディカルのお仕事	8
スペシャリストのたまご	9
リポート！現場に生かす研修成果	10
研修と院内勉強会	11
職員往来	12
職員往来／診療実績／病院行事／実習生受け入れ／編集後記	13

基本理念

Our Philosophy

社会医療法人ましき会は、患者さんとそのご家族に対し、
最善のプロフェッショナルサービスを提供し、
精神科医療の責任ある担い手として、
地域の医療・福祉・文化に貢献します。

患者さんの権利と義務

Patient Rights And Obligations

1. すべての個人情報を守られます。
2. 医療上の情報について十分な説明を受けることができます。
3. 医療行為について自ら選択することができます。
4. ご自身の負担で、他の医療機関の医師の意見を聞くことができます（セカンドオピニオン）。
5. いかなる場合も人格的に尊重され、平等な医療を受けることができます。
6. 適切な医療のために必要な情報を伝え、主体的に治療に参加してください。
7. 病状の改善及び共同生活を維持するため、規則や指示を守ってください。
8. 医療にかかった費用を支払う義務があります。

職員の倫理

Ethics Of Staff

1. 益城病院の基本理念・行動指針を自己の行動規範とします。
2. 医の倫理を踏まえ、患者さんの権利を尊重し、希望のもてる医療を行います。
3. 仕事に誇りをもち、全ての患者さんに公平・平等な医療を行います。
4. 質の高い医療を提供するため、自己啓発に努め、自身の健康増進に努めます。
5. 温和で謙虚、協調と礼節を重んじ、患者さんや地域からの信頼を得よう努めます。

5つの誓い

Five Oath

1. 私達は、精神科医療を通じて社会貢献に努め、社会医療法人としての公益的使命を果たします。
2. 私達は、こころを病む人々に対し、尊厳を損なうことなく、心身の健康づくりに努めます。
3. 私達は、こころを病む人々が、地域で安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. 私達は、お互いの立場を尊重し、働きがいのある職場づくりに努めます。
5. 私達は、医療の質を高めるため、日々、自己研鑽に努めます。

益城病院、 70年目の挑戦

院長 渡邊 信夫



2019年5月に新益城病院へ移転し、早くも1年が経とうとしています。移転時に記念植樹したコブシが白い花を咲かせ、トキワマンサクが紅い可憐な花をつけ、今は桜が満開となっています。慌ただしく過ぎたこの1年の間に木々は根づき、花を咲かせ、病院を彩り、気持ちを和ませてくれています。

新病院は個室中心、少人数グループで、よりきめ細やかな対応ができるような構造となっています。各病棟は、明るく眺めも良く、過ごしやすいよう配慮されています。このような病棟を生かせるよう、70年の歴史の中で培ってきた経験をもとに、よりきめ細やかな医療ができよう取り組んでいきたいと思います。

世の中では新型コロナウイルスの感染が急激に拡大し、経済、文化、教育などあらゆる面に多大な影響を及ぼしています。各国は、渡航・入国を制限し、この四半世紀、確信を持って進められてきたグローバル化の波を一気に消し去る勢いです。今後も、このような不測の事態が次々と起こることが予想さ

れます。精神科医療を取り巻く環境も、その渦からは逃れようがありません。

そのような中で、情勢の変化を敏感に感じ取り、柔軟に対応できるような病院にしなければなりません。難しい局面での判断のよりどころとなるのは、「患者さんとそのご家族に対し、最善のプロフェッショナルサービスを提供し、精神科医療の責任ある担い手として、地域の医療・福祉・文化に貢献します」という、当院の基本理念だろうと考えます。

それぞれの職員が、この理念を胸に協力して役割を果たし、新しい病院のそれぞれの部署に色を付け、利用される皆様に、安心して療養できる環境を提供できるようにしていければと考えます。

益城病院開設70周年の節目の年に、益城病院の院長の拝名を受けました。益城病院のこれまでの歴史に思いを馳せながら、これからも、地域に開かれ、地域に貢献できる病院となれるよう努力を続けたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



益城町 福祉課 塘田 仁課長

益城町の福祉支援や障害者支援、介護保険や高齢者支援でお世話になっている塘田課長に益城病院の今後について貴重なお話を聞く機会をいただきました。

地震後、役場本庁や町の施設が被災して町民始め多くの方々に不便をかけている。特に高齢者にとっては健康づくりや生きがい作りの場である町民グラウンドや体育館、中央公民館などが被災し、活動の場が制限されていた。

そのため震災後、社会福祉協議会とも協力しながら地域サロンを再開し、現在も46箇所で開催している。いきいき百才体操についても各地区に呼びかけ多くの方が利用されている。高齢化に伴い認知症の悩みなど、民生委員さんにも協力いただき予防の強化に取り組んでいる。また、認知症サポーター養成を各地区のサロン、町内小学校、各種団体などに前出講座を行っており、昨年度からは事業所へのサポーター養成も積極的に行っている。

益城病院は地震で惣領の本館などが被災して昨年5月に馬水に新築オープンされた。施設見学を町議会議員さんなどと伺った。6階の高層階の病院で町が一望に見渡せる眺望となっており、入院設備は各階がユニット形式で全体にゆとりを持った設計となっていた。レストラン「風のテラス」でランチを食べたが天井が高く開放的な空間で食事しながら展示物を観賞できる癒しのスペースであった。新病院は一般の方も利用できるレストランを併設し、開放的な空間設計となっており、今までより敷居がさらに低くなったと感じた。

病院は多種多様な専門集団であることから精神科特有の啓発講座などに取り組んでもらいたい。いろいろな病気で悩んでいる町民は多い、高齢により

「益城病院へ望むこと」

認知症患者も多く、見守りを行う家族の負担も大きい。このような中、貴病院には地域でのオレンジカフェの運営に支援をいただき、継続して地域の高齢者に寄り添う取り組みを行っていただいている。また、松永副院長には町職員への研修講師や郡内福祉関係員への研修でもお世話になり、併せて感謝申し上げる。今後新たな取り組みとして医師、薬剤師、看護師、栄養士、ケースワーカー、作業療法士の方がミニ講座などやってもらおうと、各職種によって視点が違うことでさらに学びが深くなる。

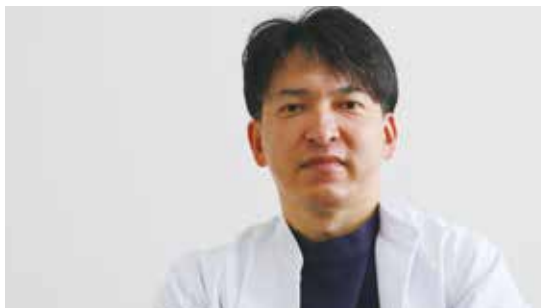
併設の惣領の犬飼記念美術館は文化の発信地としての15年の実績がある。蔵品の展示や本で活躍中の作家の展示ばかりでなく、公募展として地域の作品展ができるので、町としては生涯学習の場である町中央公民館が被災し、使用できない現在では、この美術館があることは大きい。「コーヒー講座」や「キャンドル作り」のミニ講座も地域の癒しの場になっており良い取り組みだと思う。町の災害公営住宅建設現場で発掘された大辻遺跡から出土した遺品の展示など検討させてもらってもいいかもしれない。

地震後の数々の予想外のことがあるが、地域の精神科病院としていろんな相談や悩みに乗って頂きながら、町として協力できることは一緒に携えてやりましょう。

役場職員の方々は狭い仮設で大勢の来庁者に対応されているお忙しいなか、課長には時間に都合付けてもらいました、町民を思う優しい視点と貴重なご意見に深く感謝します。

本庁の完成は令和4年ということでもまだ、しばらくは不自由な仮設暮らしが続きます。益々のご活躍を祈念いたします。

(インタビュー:法人理事 田中 洋子)



天草市立御所浦診療所 所長 古賀 義規先生

社会医療法人の使命ともいうべき、へき地医療支援。益城病院が診療を行っている山都町、上天草市湯島、天草市御所浦のうち、天草市立御所浦診療所所長の古賀義規先生にお話を伺いました。

—2018年5月から2カ月に1度、御所浦島の御所浦診療所と横浦島の御所浦北診療所で診療を行っています。経緯をお聞かせください。

益城病院が湯島診療所に診療に行かれていると聞き、御所浦でも認知症や心療内科の専門医の治療を希望される患者さんがいることから、熊本県に派遣をお願いしました。2016年の春から診療開始予定でしたが、直前の熊本地震で益城病院が被災され、その時は中止になりました。落ち着いた頃にまたお願いして、2018年に開始となりました。

—診療が始まってからいかがでしょうか。

一番多いのは認知症の患者さんです。患者さんには一度は島外で画像などの検査を受けてもらいますが、それ以降は島で通院できるようになりました。犬飼先生に治療方針を立ててもらうことにより、心療内科の診療日以外も診療所でサポートできる体制ができました。島の中で治療が完結できるので、患者さんたちにも喜ばれていると思います。

本当は犬飼先生と直接お話ししたいのですが、お互いに二つの診療所を入れ替わりで診察しているのでなかなか会えず、書面上や看護師を通してのやりとりになってしまいます。それでも来ていただいております。

「益城病院のへき地診療」

—今後、益城病院へどのようなことを期待されますか。

診療日が2カ月に1度ですので診察予約がすぐに埋まってしまい、患者さんの期待に十分応えられていないところもあります。島外の心療内科に通院している患者さんからの受診希望もあり、できれば1カ月に1度来ていただければうれしいけどな、と思っています。

～取材を終えて～

患者さんが島の外に通わなくても認知症や心療内科の治療ができるようにしたい、という先生の強い思いを感じました。昼食を取る暇もないほど忙しいなか、取材に応じていただき、ありがとうございます。

(インタビュー：法人事務局 廣松 直美)



横浦島 御所浦北診療所



診療所の目の前は海が広がっています



福富地区 民生委員 富田 幸子さん

「いきいきカフェ」の開催に尽力下さっている民生委員の富田幸子さんに、益城病院とのかかわりやエピソードを話してもらいました。色々な思い出や今後の夢など話は尽きず、あっという間のインタビューでした。

—「いきいきカフェ」を利用しようと思ったきっかけや動機を教えてください。

2016年の10月末に開かれた「震災後の高齢者支援と認知症サポート」という講演会で、「いきいきカフェ」のチラシを見た時、すぐに手を挙げました。地震後、町内の道は高齢者が歩くにはとても危険で、また、仮設住宅に入っている方も多く、孤立する高齢者が増えていました。福富地区では、地震前から、地域サロンや閉じこもり予防のための色々な取り組みをしていたのですが、地震でできなくなっていたので救われました。記録ノートによると、11月14日に第1回を開催してもらいました。それから毎月のチラシが楽しみで、記録としてとっています。

—そうでしたね。初回は、役場や西部包括支援センターと共同で開催したことを覚えています。それからあっという間に3年半。早いですね。福富地区では、昨年まで民生委員だった宮上さんと高齢者支援員の野田さんも、一緒に区の活動を盛り上げておられました。私たちも本当に皆さんに支えていただきました。

オレンジサロンでは、自分たちができない事をしてもらいました。ハンドマッサージは評判よかったですし、堀さんのお力添えもあって地域サロンに綿菓子機を貸してもらい、みんながとても喜びました。その後、地域の妙見神社の祭りにもお借りして、子どもから大人まで大喜びでした。おかげで綿

オレンジサロン 「いきいきカフェ」in福富

菓子作りが上手になりました(笑)。宮上さんは砂糖を入れる係で…。お餅つきも自分たちではとてもできないけど、ご一緒できて毎年参加する子どもたちも増えています。楽しい取り組みでした。

—今後、地域から益城病院への希望などありましたらお聞かせください。

オレンジサロンを続けていただきたいですね。私たちではできないパワフルな企画なので、とても助かります。地域の活性化につながります。

—とりあえず8月、9月くらいまでは継続できるかと思うのですが…その後は未定なんです。

そうなんですか？餅つきや綿菓子、アロマに紙芝居、色々なアイデアを出していただいています。自分たちだけではこうもいかない。ぜひ今後も継続していただきたいという希望があります。ぜひ、よろしく願います。

(インタビュー：在宅支援科 科長 堀 光代)



福富地区「いきいきカフェ」での餅つき



聖母幼稚園 村上 政子園長

パン工房「まりも」は、今から20年ほど前に、当時の職員と就労メンバーさん2人によって始めました。2007年9月よりパンを提供させていただいている、幼保連携型認定こども園「聖母幼稚園」の村上政子園長にお話を伺いました。

ーパンをご注文いただくようになったいきさつをお聞かせ下さい。

益城病院の職員さんが、飛び込みで営業に来られたのがきっかけです。その方のパンに対する熱い思いが自分の心に響いたのを、とても鮮明に覚えています。原材料にこだわった体に優しい無添加のパンが園児の給食やおやつにピッタリだと思ったのも、決めた理由の一つだったと思います。

ーその職員は、今も元気に活躍していますよ。ところで、現在、幼稚園では毎週火曜日の「パンの日」に約500個、保育園では月に4～5回ほど約120個ずつご注文いただいておりますが、「まりも」のスタッフやパンに関するエピソードがありましたらお聞かせ下さい。

当初は、数の間違いやアレルギー対応についての間違いなどはありましたが、そのつど職員さんがわざわざ謝罪に来られ、改善もできているので、今は安心して注文しています。季節に応じた可愛いパンや、ラッピングにこだわった誕生日会用のパンなどは、園児や保護者にもとても好評です。

ーこれからも長いお付き合いをさせていただきたいと思いますので、「まりも」への要望や期待などをお聞かせください。

以前、こだわりの黒豆の入荷が難しくなったので思い切って黒豆パンの製造をやめたと聞いたこと

「体に優しいパンを園児たちに」

があります。これからも、自家栽培の小麦など原材料にこだわった、安心・安全なパンを、ずっと作り続けていただきたいと思います。その妥協しない姿勢を貫いて、園児たちに美味しいパンを作ってください。

～取材を終えて～

今回の取材は、私たちスタッフにとって本当に有意義なものでした。聖母幼稚園さんから「美味しかった」というコメントを頂くたびに、メンバーも喜び、自ら担当を決めるようになり、意識向上につながっています。これからも間違いなどがあれば全員で反省し、改善策を立て、一つひとつ壁を乗り越えて、さらに美味しいパン作りを続けたいと思います。

(インタビュー：就労継続支援事業所「ましきの風」

佐々木 哲郎)



給食室のみなさんと 園長(左から3番目)



園児用のパン

心の病気や不調など、私たちにとって身近な問題について、精神科の専門医がアドバイス!

こころ 相談室

「第1回 アルコール依存症」



副院長 松永 哲夫

Q1

アルコール依存症はホントに
病気なんですか? 性格的なもの
のなのでは?

たとえば、糖尿病の遺伝子を持ってる人がみんな糖尿病になるわけではなく、食べ過ぎたり太ったりすることで糖尿病のスイッチが入るんですね。それと同じように、アルコール依存症の遺伝子を持っている人が酒をたくさん飲んでいて、アルコール依存症という病気のスイッチが入って、いろんな神経の症状が出てくる。そういった病気です。

Q2

どんな症状が出てくるの?

はじめは、飲み過ぎて記憶が飛んでしまったりします。そのうち、少し飲んだ方が意欲や食欲などが出てくると感じたり、その後だんだん、飲まないと眠れない、指が震える、微熱が出るといった症状が出てきます。最後の方では、てんかん発作、幻覚など神経の症状が現れます。

もっと詳しく知りたい!

厚生労働省

「みんなのメンタルヘルス総合サイト」

URL <https://www.mhlw.go.jp/kokoro/disease/alcohol.html>



Q3

どうして、そんな症状が
出るんでしょう?

これらはすべて、モルヒネやヘロイン類の麻薬の禁断症状と同じような症状です。どうやら、頭の中でアルコールを原料として、弱いけれども脳内麻薬ができるそうです。身体や精神だけでなく、仕事や家庭などがボロボロになったとしても、本人は苦痛を感じなくなってしまうような困った病気なんです。

Q4

じゃあ、酒をやめれば
良いわけですね?

それが、そう簡単ではなく、アルコール依存症の人にとって、断酒は相当に難しいことなんです。でも、頑張って酒をやめ続けている人たちもたくさんいます。その人たちが何ともしたむきで、明るくて元気なんです。

Q5

断酒を後押ししてくれる場がある
んですか?

はい。一人で酒をやめるのは無理でも、「断酒会」に参加して仲間と励まし合えば、不可能ではありません。一度、「断酒会」をのぞいてみられることをお勧めします。



簡単に作れて美味しく、お年寄りや病気の方も食べやすく
栄養バランスのいいメニューを管理栄養士がご紹介します！



けんこうup↑レシピ



(vol.1)

カボチャの ベジヨーグルトスープ

腸活に欠かせない乳酸菌や食物繊維たっぷりのスープで、免疫力を高めましょう！腸の健康は、感染予防にもつながります。ほのかに甘くマイルドな口あたりで、ヨーグルトが苦手な方にもおすすめです。

材料 プレーンヨーグルト 150g
(2人分) カボチャ 100g
顆粒コンソメ 小さじ1/4
オリーブ油 小さじ1/2
パセリ、スプラウトなど 少々

<作り方>

- ① カボチャは皮を切り落として一口大に切る。
- ② 耐熱容器にカボチャを入れてラップをし、電子レンジ600wで4分加熱する（または、鍋にカボチャとひたひたの水を入れ、柔らかくなるまで煮る）。
- ③ ②にヨーグルト、コンソメ、オリーブ油を加え、ミキサーにかける。
- ④ 器に盛り、パセリやスプラウト、クレソンなどを乗せる。



(CHECK)

～ワンポイントアドバイス～

腸内環境を整える食事のポイントは、

- 1、栄養バランスが良いこと
- 2、食物繊維をしっかり摂ること
- 3、発酵食品を積極的に取り入れること

今回は、発酵食品のヨーグルトと野菜を合わせてスープにすることで3つの条件を簡単にクリア！カボチャの代わりに、サツマイモやニンジンなどでもOKです。



管理栄養士 井上 さとみ



メディカルのお仕事

第1回

作業療法士アシスタント (OTA)



作業療法室 本田 由美子

Q1

作業療法士アシスタント(OTA) って、どんな仕事？

入院中の患者さんに対して、作業療法士と一緒に色々なプログラムを行っています。専門学校で学んだ事を活かして、スポーツや趣味の活動、生活訓練などのサポートをしています。集団活動の中でも個人に目を配り寄り添いつつ、患者さん同士の繋がりが深まり、お互いがより良く影響しあえるように、場を整えることも大切な役目です。

Q2

益城病院に入職して これまでに感じたことは？

とても働きやすい職場です。緑が多く、いつもきれいな花が咲いているので癒されます。育休後は、育児室「あんふぁん」にお世話になり、不安いっぱいだった社会復帰をサポートしてもらいました。全体的に家庭的な雰囲気、患者さんの抱えている悩みに対しても、他の職種の方と相談できる環境が整っていると思います。

Q3 OTAの使命と役割は？

まず第一に、元気で明るく、患者さんが安心して治療や病院生活を送れるよう心がけています。体を動かし、手足を使い、生活や自分の心身を整えることが、元気を取り戻すことにつながると思います。

Q4 これから、どんな事を目指したいですか？

現在、益城病院で働くことは、私の生活の原動力になっています。これまで数えきれない出会いや経験を通して、人が生きることや、人の存在に興味を持つようになりました。また、患者さんや職員との関わりは、私の生活に大きな刺激となり、ヨガ、手芸、お茶、地域活動など趣味も広がりました。

先輩の勧めで認知症ケア専門士の資格を取ったことで、研修会などで学ぶ機会が増えました。公認心理師を受けるチャンスも頂き、運よく合格できました。今後は、今以上に専門的な知識を習得し、それを現場の仕事に生かしていきたいですし、私生活も充実させたいです。

スペシャリストのたまごに 聞きました！

第1回 臨床心理士

臨床心理室 臨床心理士・公認心理師

高橋 直美

Specialist 

益城病院に入職して感じること、 病院の魅力は？

病院と地域のつながりが深く、そこを大切にしていると感じます。また、家族的な雰囲気があり、病院全体で患者さんに関わっていることが魅力の一つであると思います。

臨床心理士として 心がけていることは？

他のスタッフとの連携を大切にしています。心理士の視点は独自のものがあり、そこが強みの一つと言えます。心理士から見える患者さんの姿や状態を医師や看護師、コメディカルにフィードバックし、チーム全体で患者さんへの理解を深めたり、支援がプラスの方向に働くことに繋がるよう心がけています。



自分の仕事についての目標とこだわりは？

患者さん自身の力を高めるお手伝いをする、というスタンスを大切にしています。それぞれの患者さんの強みを生かし、苦手な部分をカバーするための工夫を一緒に考えます。患者さんの人生の歩みに寄り添っていくことができたと思います。

やりがいを感じるのはどんな時？

患者さんとお話をしている時です。特にカウンセリングでは、患者さんの心のとても大切な部分に触れさせていただくことがあります。そんな時間を共有できるのも、心理士の醍醐味であると感じています。

仕事で悩んだときは、どうしていますか？

まず、同僚や上司に相談をします。本を読んで解決策を探したり、スーパーバイズを受けて自分を振り返ることもあります。好きなラジオを聞くと気分転換になります。

人生設計や今後の夢について、どうぞ。

大学院の恩師のように、柔らかく、温かく、葛藤を抱えられる力を持った心理臨床家になれたらと思っています。色々な場所や国に旅行もしてみたいです。出会いを大切に、様々な文化に触れ、自分の中の世界を広げていけたらと思います。

リポート 現場に生かす研修成果



院外研修

「食支援のための新しい口腔ケアの手技」

主催：全国高齢者施設看護師会 場所：第3博多偕成ビル

グループホームふるさと
介護福祉士
深見 沙緒里

高 齢者の方にとって、食事介助や口腔ケアはとても大事なケアの一つです。口腔機能が低下すると、噛んで味わう、飲み込むといった動作がスムーズに行えなくなるので、栄養が十分摂取できません。栄養低下の状態が続くと運動機能の低下をきたし、また、認知症が加速するなどして、摂食障害につながる可能性があります。しかし、私が以前勤務していた病棟では、何らかの理由で、食事介助や口腔ケアの際に歯を食いしばって開口を拒否される患者さんがいました。それには様々な要因が考えられます。

今回の研修で、アセスメントの前準備として情報収集をし、カルテでデータ確認したり、生活歴など

から本人を理解することが大切であることを学びました。患者さんとの「出会いの準備」としての視線や声かけ位置も大切なことであり、安全に口から食べられる手技や、症状別などの具体的なアプローチについても学ぶことができました。

私は、これらの学びを現場に活かすために、院内で情報伝達の場を設け、スタッフに広めました。研修の成果を活かして、開口拒否などの患者さんに対し、様々な工夫で食事支援を行っています。今回の研修を通じて、口腔ケアの大切さとアプローチの手法を学ぶ良い機会を得たと思います。

研

修

と

院

内

勉

強

会

院 内

1月	14,15,20,21日	院内感染対策研修（全職員）
	15,20,21日	医薬品安全使用研修
	18,22,29日	令和元年度第1回接遇研修
	31日	認知症対応強化検討会主催勉強会
2月	6日	医療ガス委員会全体研修会
	7,8,12日	令和元年度第1回接遇研修
3月	27日	個人情報保護、行動制限最小化委員会合同全職員研修会
4月	※COVID-19感染予防対策の為、研修会・勉強会は中止または延期となっています。	

院 外

1月	4日	精神科訪問看護算定要件研修会（口石さつき）
	7日	防災研修会（西岡優輔）
	10日	熊本県県央障がい者相談支援事業連絡協議会令和元年度第3回研修会（山迫浩史）
	11,12日	メンタル・ステータス・イグザミネーション（4名）
	12日	上益城郡医師会災害医療実務研修会（伊津野智士）
	23日	令和元年度熊本県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修(2名)
	30日	2019年度日本病院会熊本県支部講演会（犬飼邦明）
	31日	令和元年度熊本県四病院団体合同研修会（4名）
2月	1日	第43回岐阜県精神科病院協会薬剤師会研修会(講演：犬飼邦明)
	2日	社会医療法人の収益業務を考えるフォーラム（犬飼邦明）
	4日	サービス管理責任者更新研修（山迫浩史）
	8日	2019年度精神科訪問看護算定要件研修会（口石さつき）
	10日	熊本保健科学大学キャリア教育セミナー（4名）
	14日	熊本大学医局精神科セミナー（松永哲夫）
	15日	循環型認知症医療のための認知症連携体制基盤強化事業研修会（3名）
	21日	2019年度病院経営実務セミナー講演会（犬飼邦明）
3月	4日	救急病棟スキルアップ研修（5名）
4月	※COVID-19感染予防対策の為、研修会・勉強会は中止または延期となっています。	

※他にも院内外でさまざまな研修・勉強会等に参加しています。

職 員 往 来

2020年1月16日～2020年4月1日

新しい職場でがんばっています。
よろしくお願いします。



フリガナ

氏 名

入職年月日

所 属

職 種

①趣味・特技

②志望理由

③ひとこと



シオツキ マユミ

汐月 真由美

2020/1/16

A病棟

看護師

①マンガを読む事・アウトドア (釣り、キャンプ等)

②以前より精神看護に興味があったから

③精神科での経験はありませんが、頑張りますので、ご指導の程よろしくお願いします。



ウスイ ツネヒト

碓井 常仁

2020/1/16

B病棟

看護師

①キャンプ

②以前から興味を持っていて、精神科について学びたいと思ったから

③1日でも早く職場に慣れるよう努力していきたいと思っています。



マルヤマ ユウ

丸山 優

2020/2/1

高齢者グループホーム

ケアワーカー

①趣味はテレビ鑑賞 (特にドラマ)

②精神科は初めてだが、興味を持ちチャレンジをしたいと思ったから

③分からないことばかりですが色々学びたいと思います。よろしくお願いします。



タカヤマ カズミ

高山 一美

2020/2/19

歯科

歯科衛生士

①子供と遊ぶこと・バイク

②これまでの経験を活かせると思ったから

③皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。



イノウエ フクコ

井上 富久子

2020/3/1

育児室

保育補助

①食育すること・小旅行・カラオケで歌うこと

②子ども達に囲まれて楽しそうだったから

③全くの畑違いの仕事で不安でしたが、優しく指導して頂き、楽しく仕事をさせてもらっています。これからも宜しくお願いします。



ミギタ ミツル

右田 光

2020/4/1

医局

医師

①麻雀、自転車

②急性～慢性期、認知症、依存症と幅広いケースを診ている病院なので。

③気軽に声を掛け下さい！



ナガモト エイコ

永元 英子

2020/4/1

医局

医師

①子どもとSwitchのスプラトゥーンで遊ぶ事

②皮膚科から精神科への転向を目指して、研修先として紹介していただいたため。

③卒後12年目、10年間皮膚科を専攻していました。精神科はまだ勉強不足ですがよろしくお願いします。



ハマダ ナユミ

浜田 直優美

2020/4/1

医局

医師

①旅行、猫と遊ぶこと

②大学病院からの配属ですが、また違った角度から経験を積みみたいと思ったから。

③素敵なスタッフの皆さんと働けるのが楽しみです。未熟者なのでご指導の程よろしくお願いします！



ネイ ノリユキ

根井 紀幸

2020/4/1

医局

医師 (歯科)

①野球、テニス

②精神科専門病院で理想の歯科治療を学びたいと思ったため。

③歯科医師としてまだまだ未熟者ですが、色んなことを吸収していきたいと思っています。よろしくお願いします。



カイ ケイジ

甲斐 敬次

2020/4/1

C病棟

看護師

①体を動かすこと

②精神科の経験が無く、自分も人間的に成長し人との関わりの中で学びたいと思ったため。

③これまでの経験を活かしつつ、学びを深め、病院・地域に貢献したいと思います。



サトウ ユウキ

佐藤 悠生

2020/4/1

D病棟

看護師

①映画鑑賞、ミニバレー

②認知症を中心に精神科全般を学びたいと思ったため。

③業務に慣れ、益城病院の一員として頑張っていきたいです。



アンドウ ミチコ

安藤 倫子

2020/4/1

B病棟

介護福祉士

①バドミントン

②これまでは施設勤務のみで病棟勤務は初めて。今後は看護師を目指したいと思ったため。

③慣れない事ばかりですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



イシイ ケイコ

石井 恵子

2020/4/1

D病棟

介護福祉士

①断捨離、飼猫の「きな粉」と遊ぶ事

②これまでの介護施設での勤務経験を活かし、患者さんとの関わりを学びたいと思ったため。

③久しぶりの新しい環境に身が引き締まる思いです。よろしくお願いします。



イワシタ シオリ

岩下 詩織

2020/4/1

栄養管理科

栄養士

①映画鑑賞、ドライブ

②食事の面で患者さんの治療の手助けをしたいと思ったため。

③患者さんに食事の時間が楽しみだと思って頂けるよう頑張ります。



ノグチ ユカ

野口 由華

2020/4/1

臨床心理室

心理職

①PerfumeやK-Pop、茶道

②中学2年から目指していた職業で、多職種連携を学びたいと思ったため。

③色々な患者さん、職員さんとの出会いを楽しみにしています。

診療実績

区 分	R ₁ 12月	R ₂ 1月	2月	3月	4月
外 来					
外来患者延人数	2,885	2,768	2,697	2,671	2,606
(うち新規患者人数)	55	53	46	69	57
平均外来患者人数	125.4	125.8	107.9	111.3	96.5
入 院					
新入院患者人数	32	28	29	36	32
退院患者人数	30	27	39	28	37
在院患者延人数	6,400	6,384	5,949	6,356	6,040
平均入院患者人数	206.5	205.9	205.1	205.03	201.3
平均在院日数(単位:日)	206.5	232.1	175.0	198.6	175.1

実習生受け入れ実績

1月	15日	あおば病院厨房見学(3名)
	16日	日本精神科病院協会北九州ブロック看護部会施設見学(15名)
	18日	栗田病院施設見学(4名)
	31日	熊本県精神保健福祉センターブロック大会病院見学(32名)
2月	4~26日	フチガミ医療福祉専門学校PSW実習(1名)
	19日	特別養護老人ホーム白寿園厨房見学(1名)
	27日	仁明会病院施設見学(5名)

病院等行事

2020年1月~4月

1月	6日	年頭式
	14~28日	職員のストレスチェック受検
	24日	ましき会新年会
3月	26日	宿泊型自立訓練事業所「コスモ」避難訓練
	26日	あんふあんビル避難訓練
4月	1日	入社・辞令式・院長就任式



↑益城町秋津川畔の桜並木

編集後記

熊本地震後、復興の願いを込めて発刊してきた広報誌「Reborn」が、病院創立70周年を機に「Well(うえる)」として生まれ変わりました。皆様に親しまれ、お楽しみいただけるよう内容も一新し、一皮むけた広報誌をめざして、広報委員一同、意気込んでおります。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

左の写真は秋津川畔の桜です。新型コロナウイルスによる自粛で花見ができなかった方も、誌面でお楽しみください。

(広報委員：犬飼 翠)

Information

お知らせ

広報誌名が新しくなりました。
熊本地震被災から4年が経過し、新病院の完成と移転から1年が経過しました。
創立70周年の節目を迎え、広報誌名も一新しました。
『Well(うえる)』『植える』にちなんで、地域に根を張り、健やかな生き方をサポートしたいという願いを込めています。



益城病院創立70周年記念エンブレム
詳細はホームページをご覧ください。

益城病院

MASHIKI HOSPITAL

精神科・心療内科・小児科・歯科

〒861-2232

熊本県上益城郡益城町馬水123

096-286-3611

外来電話受付時間(月曜～金曜)

午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00



付属施設

- 熊本県認知症疾患医療センター
- 高齢者グループホーム「ふるさと」
- 指定相談支援事業所「アントニオ」
- 訪問看護ステーション
- 居宅介護支援センター
- 就労継続支援B型事業所「ましきの風」
パン工房「まりも」、清掃・洗濯作業「クリーンサム」
軽作業「あひるのしっぽ」、軽食・喫茶「風のテラス」
- 宿泊型自立訓練事業所「コスモ」
- 育児室「あんふあん」
- 犬飼記念美術館
「こころと心のミュージアム」

関連施設

- ひろやすクリニック 内科・消化器科・循環器科
熊本県上益城郡益城町惣領1530
TEL 096-286-3636
- 特別養護老人ホーム 花へんろ
熊本県上益城郡益城町惣領1670
TEL 096-287-8706
- 養護老人ホームAKAI花へんろ
熊本県上益城郡益城町赤井1800
TEL 096-286-2075

表紙写真：熊本復興プロジェクト〈麦わらの一味「ヒノ国」復興編〉の一環として設置されたサンジ像(益城町交流情報センター)

表紙撮影：深見沙緒里 発行：社会医療法人ましき会 益城病院 広報委員会

発行日：2020年6月1日

ホームページは
こちらから▶



Facebookは
こちらから▶



益城病院

検索